

情報ファイル

◆若鮎倶楽部例会 若手経営者らでつくる岐阜商工会議所若鮎倶楽部が、岐阜市神田町の同会議所で開いた。岐阜造園会長の小栗達弘氏(写真)が「造園業から景観産業へ岐阜造園の未来への挑戦」と題して講演した。



古屋証券取引所に上場した時の苦労や、業績

拡大を目指して積水ハウスとの資本業務提携を結んだ狙いを紹介。培った経営観の一つとして「経営者はやりたいことよりも、やらなければならぬことをすべきだ」と説き、環境の変化に適応するため「コンサルティング会社など

外部のノウハウを活用することも大切」と語った。

◆生産者応援・国産野菜フェア 全国農業協同組合連合会岐阜本部(JA全農岐阜)は、カネ井青果アクティブG店(岐阜市橋本町)と同セントラルパーク店(名古屋市中区)で開催した。



産資材が大幅な値上げとなっており。農家が置かれた状況を知らせてもらい、地

農家では原油・肥料価格の高騰、急激な円安によって生産資材が大幅な値上げとなっており。農家が置かれた状況を知らせてもらい、地産地消で応援する機運を盛り上げようと企画した。アクティブG店ではホウレンソウや枝豆、トマト、小松菜など新鮮な県産野菜が並び、来店客が買い求めている(写真)。